

各地区業況アンケート結果（2020年6月調査分）

（2020年6月26日）

全国鉄鋼販売業連合会

6月25日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ72名の回答があり（回答率51.1%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、(数は回答実数)

1. 売上数量・金額とも9割強の企業が前年同月比減

問1】貴社の5月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	2	2	2	14	50	70	74
比率	3%	3%	3%	20%	71%	DI-154	DI-126
売上金額/前年同月比	1	2	3	14	51	71	73
比率	1%	3%	4%	20%	72%	DI-158	DI-134

2. 赤字は74%、収益状況最悪

問2】貴社の5月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	1	9	9	26	26	71	75
比率	0%	13%	13%	37%	37%	DI-94	DI-36

3. 全向け先で減少傾向続く

問3】貴社の営業窓口から見て6月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		2	25	17	13	57	-72	-93
民間建設向		2	21	19	22	64	-95	-111
自動車向			10	7	18	35	-123	-160
その他需要家向		1	17	17	23	58	-107	-109
仲間取引		3	15	21	22	61	-102	-123
計		8	88	81	98	275	-98	-116
比率		3%	32%	29%	36%			

4. 第2四半期も需要低迷続くと予測

問4】貴社における向う7月から9月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測		6	22	22	21	71	75
比率		8%	31%	31%	30%	DI -82	DI -119

5. 薄板3品をはじめ全品種過剰きみ傾向続く

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	品種別	A	B	C	D	E		6月
DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	DI
0	-7	-14	-28	-31	-27	-34	-9	-21	-25	-31	-32	-38	鉄筋用丸鋼			20	4	1	25	-24
-3	-16	-18	-23	-29	-28	-25	-21	-29	-17	-27	-32	-26	構造用丸鋼			16	6	1	23	-35
-8	-9	-18	-20	-10	-12	-6	-15	-12	-6	-17	-26	-23	平角鋼			22	5	1	28	-25
-24	-22	-36	-29	-29	-18	-13	-6	-16	-30	-13	-31	-30	H形鋼			25	4	1	30	-20
12	4	-11	-15	-26	-11	-19	-22	-16	-28	-36	-29	-38	コラム			15	4	2	21	-38
-10	-14	-15	-16	-24	-16	-17	-22	-16	-17	-18	-16	-24	小形山形鋼			21	6	2	29	-34
-15	-16	-20	-23	-29	-21	-22	-29	-30	-24	-24	-25	-33	中形山形鋼			23	5	2	30	-30
-19	-17	-23	-21	-26	-29	-19	-26	-26	-20	-24	-32	-39	溝形鋼			21	6	3	30	-40
-12	-10	-13	-15	-34	-30	-31	-29	-26	-20	-24	-18	-21	軽量形鋼C形			21	4	2	27	-30
-10	-5	-5	-11	-25	-16	-15	-18	-26	-15	-15	-17	-26	軽量形鋼広巾			16	2	1	19	-21
-32	-34	-43	-58	-58	-53	-53	-47	-61	-58	-58	-71	-65	冷延薄板			10	10	3	23	-70
-28	-34	-55	-55	-50	-56	-60	-47	-55	-55	-56	-73	-58	熱延薄板			12	7	5	24	-71
-43	-45	-52	-53	-68	-59	-53	-52	-63	-68	-66	-76	-64	表面処理鋼板			13	10	3	26	-62
-39	-38	-44	-51	-57	-53	-56	-58	-64	-65	-70	-85	-77	酸洗鋼板			10	13	4	27	-78
-19	-33	-50	-48	-47	-51	-50	-48	-56	-51	-49	-64	-61	中板			17	15	6	38	-71
-10	-29	-50	-38	-45	-51	-49	-49	-49	-44	-63	-63	-72	厚板			19	11	5	35	-60
-13	-12	-32	-25	-20	-28	-22	-32	-29	-47	-50	-26	-25	極厚板			13	3	1	17	-29
0	-14	-19	-13	-29	-27	-21	-23	-25	-18	-20	-32	-21	縞板			20	5	2	27	-33
-18	-15	-30	-18	-31	-30	-28	-27	-28	-32	-30	-39	-38	中径角			19	10	2	31	-45
-8	-13	-16	-10	-25	-15	-19	-5	-18	-20	-20	-24	-27	ガス管黒	1		25	5	2	33	-21
-19	-5	-17	-11	-22	-16	-17	-5	-17	-21	-20	-27	-27	構造用鋼管	1		23	5	2	31	-23
-15	-19	-28	-28	-34	-31	-30	-28	-33	-32	-35	-40	-41	計	2	0	381	140	51	574	-41

6. 経済活動再開後も荷動きは依然として低迷状態

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	形鋼は季節的に少しずつ荷動きが上向きになってきたように感じる。今のところ、新型コロナの影響は少ないと思われる。これから建築中小物件の設備投資があるか心配である。
	B	丸棒の需要は減少傾向。RC物件は少ない。このまま低調に推移すると思われる。
	C	売上は数量、金額とも昨年と比べ多少減っているが、このコロナ禍の状況でまだ良い方なのかよくわからない。産業がボロボロの中で、この先が不安である。
東北	A	在庫販売はパツとせず、一次加工は注引量が減っている。丸棒の販売量は比較的好調だった。
	B	新規案件は低調で契約残を消化している状況。
	C	少ないながらも新規物件はある。値上げと値下げの板挟み状態で利益が残らない。少ない物件を大事にしたい。
	D	4月からの受注量は減少傾向。2ヶ月間はほぼ活動できない。現在の案件は細かく不透明。コロナ対策など早く決着がつくことを望む。
新潟	A	需要低迷が続くが、今が底と信じて取り組んでいく。電炉メーカーの値上げ発表に期待。
	B	緊急事態宣言が解除され、経済活動の再開が言われるようになったが、依然として荷動きは低迷している。特に7月、8月の動きが懸念される。
	C	先行き不透明感が増しているなかで、出荷数量の減少と単価下落で厳しい局面が続きそうである。
	D	小口、短納期分で動いてはいるが、まとまった物件がない。ファブは8～9月までに仕事を持っているが、秋頃は見通しが立っていない。特に形鋼の出荷が少ない。
	E	6月に入り、荷動きが更に悪化。リーマンの時より明らかに悪い。
	F	新規案件が少なく、今後の需要が心配である。メーカー各社も減産しているが、需要減による安値も散見される。必要以上に価格を下げてもいいことはない。丁寧な商売を心掛けていかなければならない。
	G	新型コロナの影響で自動車、建産機の受注は大幅に減少。7月以降に自動車は回復傾向との話も聞こえるが、建機は一部で遅れなどが見られたが、それ以外は比較的順調でファブは受注残の物件を消化しており、本格的な影響はこれから出てくる。
神奈川	A	県内全体的に荷動きが悪く感じられる。建築物件も小口案件は、新型コロナウイルスの影響は少ないのでポツリポツリ出ている感じである。先行きも急に変化するとは予想し難い。
	B	工作機械の引合いが少しずつ頂けるようになってきた。しかし、公共建設、民間建設が落ち着きはじめており、見通しは不明な状況。
東京	A	引き続き新型コロナウイルスの影響で、受注量の減少が続いている。緊急事態宣言は解除されたが、第2波への懸念からすぐの回復見込みが立たない状況。
	B	どの業界も振るわない。5月は稼働日が少なかったこともあり数字を作る限界があった。6月は規制緩和と稼働日増により底を脱することができると思うが目覚ましい数字作りは厳しい。
	C	5月は全品種が前年比20～25%減となり、過去最低の出荷量となった。6月も変化なく不透明感は増すばかりである。

東京	D	もともと建築需要が弱かったところに新型コロナウイルスの影響で更に追い打ちをかける形となっている気がする。取引先の稼働が上がらず、販売量も減る一方。まだまだ数か月はこの低水準が続くと思われる。
	E	これから信用問題が一番きびしい。
	F	概ね6割稼働である。新型コロナウイルス感染防止の見地から3割休業していたが、6月3週目まで休業なしで操業した。ここへきて売上減少により一部休業をすることになる。情けないことこの上ない。酸洗材の激安価格が散見される。先行きの見通しは全く立たず、ひたすら経費圧縮に努める。
静岡	A	地域限定で行っている鋼管杭（住宅向け）も前期3Q、4Qと見積り案件数が多かった割に、物件の延期、工法変更により販売に結びつかなかった。こちらが抗がっても、どうにもならず残念である。1Qも後半になりようやく、7桁、8桁台の物件が始まった。施主なしで認定商品の販売を始める予定。H、Mクラスファブは、ここ5～6年間の留保もあり、コロナ禍の影響はほとんど皆無。逆にコロナ禍によって労働環境、シフトの大改善が実施されたと思われる。大概3Qからの大変化を期待する声が多い。流通、メーカー担当者より7月アポが集中。今後、コロナ禍がどうなるのか。
	B	足元、地元の鉄骨案件は予定通り出件され、8割程度の稼働を維持している。延期、中止案件も出始めている。鉄骨業界はリーマンショック時も他業種より遅れて影響がでてきたため、第2四半期以降の不安は大きい。製造業の追い地域柄、すべての品種で荷動きが悪く、在庫の圧縮に注力している。
石川		新型コロナの終わりはまだまだ見えないが、日本だけをとると前進に向かっている。しかし、昼も夜も開放に向かうとぶり返しの可能性は必ずある。それを通り過ぎ、犠牲も払わないと回復しない。その間に公共事業をフルに出して、ニューディール政策と同様の規模にして国力回復と国政大改造できる大チャンスである。
富山		公共工事のみ。その他は見送り、中止で売上は30%減。
岐阜	A	金曜日休みのユーザーが多い。木曜日、金曜日休みも増加中。やはり工作機械系の売上が半減している。その中でも特殊な機種はあまり減っていない様子。受注も手間のかかるものは増減ないが、楽ちん簡単な自動切断などが少なくなっている。当然、人間も同じく、手間仕事の人は前よりも多忙。簡易作業者は暇になる。「業務量の平均化にチャレンジ中」と毎回、不況時の流れ。しかし、今回は別次元か。
	B	業種によっては、週休3日、週休4日で対応している企業もある。輸出が再開されないと次の仕事の予定が組めない等 いろんな影響が多方面に出ている。IT関連では新型コロナウイルスの影響によるテレワークなど5G（タブレット等）、PC、AI関連などにかかわる仕事は出ている。
大阪	A	コロナ禍の影響で新規の戸建住宅（建売住宅）は激減している。その他、民間の中小案件も新規物件は中断、見直しとなっているものが多い。一方、公共工事（土木）はそこそこ動いている。
	B	中小物件の先行きが不透明なため荷動きは良くない。また、新型頃案感染の第二波が心配される。しばらく低調な状態が続くものと思われるが、このような中、スクラップ価格は反転しており、販売単価を押し上げていかなければならない。

兵庫	「転ばぬ先の杖」と思い、政府系金融機関で経済産業省がHPで告示している「新型コロナウイルス感染症で影響を受けている事業者の皆様へ」の資金繰り支援の内容説明を聞いたが、掲載されている内容とは大幅に違う説明を受けた。記載内容をうのみにして融資を期待すると痛い目にあう。銀行の対応というよりは、経済産業省のHP内容に問題があるのではないかと思う。
岡山	在庫を減らしているが、思ったほど減らない。切断屋も週1～2回仕事を休んでいるところもある。
香川	5月までは決まった仕事があり、量的には4月と変わらなかったが、6月以降は厳しいと思われる。鉄骨は中小ファブの仕事の山は低くなっている。中小物件も少なく加工単価も下がっている。
北九州	建築、自動車、造船、建機ほか繁忙期なく、月を追うごとに需要減退。マーケットは活気薄く小口当用買いが一段と鮮明で荷動きは停滞。先行き不透明感は拭えておらず、新型コロナ終息まで弱基調の展開が見込まれる。